

# ユジノサハリンスクの基本情報

サハリンというと、昔日本領であった南樺太には日本人の建てた建物も多数残っており、それらを観光したり、素晴らしい自然を楽しむツーリングや釣りなどのアウトドアの旅行を楽しむ方が多いです。

また原油・天然ガス資源の開発によるビジネスマンの渡航者も増え、航空機は以前札幌からのみでしたが現在は東京から週2便でしており手軽に観光ができるようになりました。

最近ブームになっているのは宮沢賢治の足跡をたどる旅行です。賢治は道中たくさんの詩を残しており、それらの詩の源となったサハリンの地を訪ねる方が増えてきています。

■正式国名：ロシア連邦

■サハリンの広さ

ユジノサハリンスク市の面積は877平方キロメートル

(参考：東京23区の面積は約622平方キロメートルです。)

サハリン島は宗谷岬の北方約43km先の南北約948kmの長い島で本州の約3分の2、面積は約87,000km<sup>2</sup>で北海道とほぼ同じ大きさ。ベルギーの3倍、スイスの2倍の面積。

1. ユジノサハリンスク市の人口

182,291人(2008年現在)、サハリン州は488,391人(2015年)

■通貨：ロシア・ルーブル(RUB) 1ルーブル=約2円 (2015年10月現在)

基本的に日本円からは両替ができませんので、モスクワではUSドル、ユーロからルーブルに両替することになります。または成田空港・出発ロビー近くの銀行で円からルーブルに両替することができます。

■クレジットカード：アメリカン・エクスプレス、マスター・カード、ダイナース、VISAが利用できます

■電圧：220V、C型プラグ

■査証：ロシアの渡航には査証が必要です。観光の場合は予め、滞在期間中の旅行手配をライセンスを持った旅行会社を通して完了し支払をし、招聘状とバウチャーを取り寄せてロシア大使館に申請します。旅行業者の弊社が面倒なことを旅行手続き代行します。尚、パスポートはロシア出国予定日より6か月の残存が必要です。査証は手配した期間のみのビザが発行されます。ビザは申請してパスポートを大使館に預けて1週間後に受領となります。

■治安：日本と違い外国です。外で現金を数えない。荷物から目を離さない。人通りの少ない道には入らない。一人では歩かない。夜は外出しない。声をかけられても疑うこと。酔っ払いや街角でたむろしている人と目を合わせない。部屋を出る時は鍵をかけること。人通りの多い所、市場や駅にはスリがいるので注意が必要。ウエストポーチは持たない。外出時は必要以上の現金を持ち歩かないこと。街並みは清潔で、人々の表情も明るいし、爽やかな空気の中では、あまり緊張しません。しかし現地では常に日本にいる以上に注意をしてください。少しでもガイドをつけると現地最新情報、面倒な手続き等が聞けて楽しい安心な旅行ができます。

ロシアの祝祭日2016年	
1月1日	正月
1月7日	キリスト降誕祭（正教のクリスマス）
1月14日	旧正月（ユリウス暦の正月）
2月23日	国土防衛の日（男子の日）
3月7日	マズニッツァ ～13日（年により変わります）
3月8日	国際婦人デー
5月1日	イースター（年により変わります）
5月1日	メーデー
5月9日	戦勝記念日
6月6日	プーシキンの日（ロシア文学の父）
6月12日	ロシア国家主権宣言の日
6月24日	夏至（聖ヨハネの日、イワン・クパーラ）
9月第2土	ユジノサハリンスクの日
11月7日	和解と同意の日（旧革命記念日）
12月12日	憲法記念日

#### ・服装

服装は夏、日中であれば半袖で過ごせます。ただ寒暖の差があり朝晩や雨の日は気温が下がる事もありますので必ず、サマーセーターなどの羽織れるものや風を通さないウィンドブレーカーのようなものを一着ご用意下さい。ユジノサハリンスクの気候は旭川と似ています。そして”サハリンの天気”で検索して下さい。

#### ・チップ

ガイドへのチップは1日20～30ドル分、ドライバーはその半分、他は不要です。

#### ・空港とアクセス

空港は市内中心部の駅から約10km南の方角にあります。車で約20分  
 空港からは63番バス、



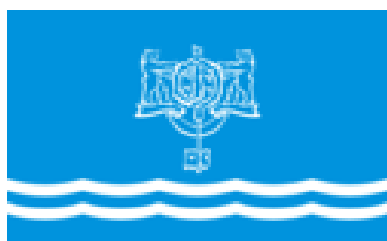
### 3. 気候

湿潤大陸性気候で、夏の最高気温は20度C前後で大陸のハバロフスクやイルクーツクより涼しく、霧が多発します。冬は最高マイナス8度C、最低マイナス19度Cと厳寒で、北海道と同じように西に海があるので年間降水量は大陸内部より多いです。

ユジノサハリンスクの気候 1981-2010年平均												
月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均最高気温 °C	-6.7	-5.3	-0.3	6.9	13.4	17.7	20.8	22.4	18.9	12.2	3.2	-3.7
日平均気温 °C	-12.2	-11.6	-5.6	1.7	6.9	11.7	15.5	17.3	13.2	6.5	-1.6	-8.6
平均最低気温 °C	-17.0	-17.3	-10.7	-2.4	2.5	7.5	12	13.6	8.5	1.8	-5.4	-13.1
降水量 mm	49	37	49	59	67	51	83	110	114	99	81	62
平均降水日数	0.3	0.4	2	9	17	17	20	19	19	18	9	2
平均月間日照時間	133.9	142.3	186	194.4	200.9	208.3	171.1	156.2	187.2	163.7	115.2	100.8

#### 4. 標準時

時差はUTC世界協定時+10時間で、夏時間はありません。日本との時差はプラス1時間になります。



市旗



市章

## サハリン小史

間宮林蔵が1809年（文化6年）、各先住民が住むサハリンを探検。

1855年（安政2年）日露和親条約で日本とロシアの共同領有地、日露両国の雑居の土地とされ、領土未確定の土地とされました。明治維新の新政府は樺太を放棄し、代わりにカムチャッカ半島より南の全千島諸島の領有権確保を交換に1875年（明治8年）サハリンロシア領に、千島列島を日本領土とする、千島樺太交換条約が結ばれました。しかし1905年（明治38年）日露戦争に勝利した日本はポーツマス条約により、北緯50度以南を日本領とし樺太庁を豊原におき、以後40年間日本の統治が続きましたが第2次世界大戦後、旧ソ連がサハリン全島を支配し、今日に至っています。

## 旧北海道拓殖銀行の建物、サハリン州立美術館

ユジノサハリンスク駅近くのレーニン通りとハバロフスク通りの交差点にあります。同時期に北海道で竣工した銀行と同じ特徴を持っています。1階は現代作家の展覧会スペース、2階はロシア19世紀移動派絵画(アンドレイ・リャブシュキン、ミハイル・ネステロフ他)や朝鮮系美術の展示室、日本時代の遺品展示室もあります。10:00~18:00



## 大日本帝国が創立したサハリン州立郷土誌博物館(旧樺太庁博物館)

1937年に大日本帝国が創立した建物。サハリンの自然、民族、歴史で戦争関連と少数民族の展示が多く、50度線上に置かれていた日ソ国境の石碑や大砲などもあります。11:00~18:00





## 日本の蒸気機関車もある鉄道歴史博物館

駅前のD51やその裏にある博物館(日本時代から現在まで)、すぐ前のヴァクザーリナヤ通りにはキハ58等の鉄道車両や雪かき列車(1939年愛称ワジマ)等もあります。 08:30~17:30





## 桜の園の著者ロシアの大劇作家チェーホフ記念文学館

正式名は「A.П.チェーホフ著サハリン島博物館」で1890年に訪れ実態調査をしたサハリン流刑囚の生活用品の展示他。11:00～18:00。隣にチェーホフ劇場がある。  
入口左手に入場券売り場があり、写真付きのマグネットのお土産も販売しています。



## 鎮魂、日本人墓地

レーニン通りを空港に向かって町外れの共同墓地内の一角。「日本人死没者合同墓碑」もある。



## ■ 郊外小旅行(日本語ガイドと専用車付き)

### レジャー地・トナイチャ湖（旧富内湖）とオホーツク海

当地の人達のアウトドアレジャー人気地で車に遊び道具を乗せて仲間や家族で出かけます。南東40km先でコルサフに向かう幹線道路から東へ十数km 1時間余りで網走湖と同様の砂州によってオホーツク海と隔てられた汽水の湖。そして、すぐ先がオホーツク海。春は水芭蕉やすすらん、夏はエゾオトギリ、ピンクのヤナギラン等、群生が広がり、6月・7月はバードウォッチング7月はフラワーウォッチングができます。途中の奥に入る村には養殖場（樺太マス、サクラマス、サケ、コマイ、ハゼ、タラ等）やレスノエ村には白旗南極隊長と樺太犬の記念碑、日本軍のトーチカ跡も残っています。オホーツクの海の村には、観光客目当のアクアマリンの宿、カニ、エビや土産物販売もあり賑わっています。釣りには許可証が必要です。夏はカレイやヒラメ釣り冬に凍結した穴釣り（カニやキュウリウオ）、屋内娯楽施設ではボウリングセンター、カラオケ、サウナ等もあります。





### 温泉天国・シゴルスク・サトリム（旧川上温泉）

ユヅノサハリスクから約20km北で専用車で約30分で美しい森の中にあり、温泉熱を利用した温泉治療（サナトリウム）施設です。2時間のコースです。治療室、泥パック、マッサージ室、浴室など完備しています。







### 原始林と高山植物・チェーホフ山（旧鈴谷岳）

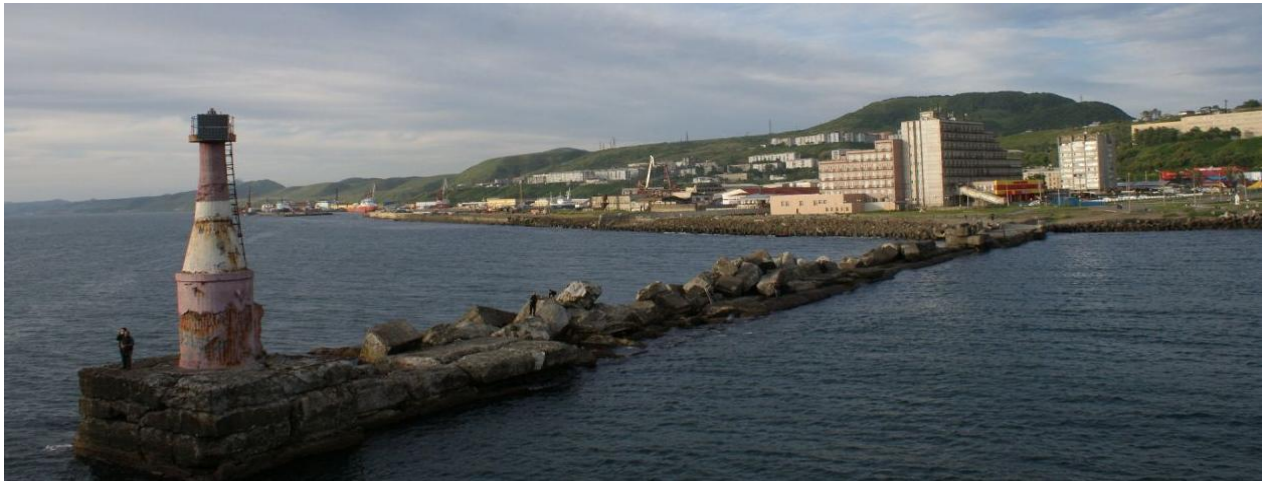
チェーホフ山（旧鈴谷岳）1,045mは、南部で一番高い山です。原始林に覆われた高山植物帯はかつて日本の天然記念物とされていました。登山口より、約3時間、下り2時間半ほどの行程になります。岩峰（約860m）あたりが、夏はエゾツツジ、ハクサイチゲ他、稜線にはカラフトハシラギ、ハクサンドリ他高山植物が咲きます。歩き始めは静寂なブナの原始林の中を緩やかに登ります。そして、這松帯になり、大展望の稜線歩きそして、独立標高点916mから1時間で頂上です。頂上からはユヅノサリツク市街を見下ろし、東はオホーツク海トナイチャ湖と360度の大自然の大パノラマが広がります。樺太時代は北方を代表する名山と記され、豊原中の生徒の恒例行事で、今はサハリン大学生の卒業記念登山になっています。

□



### ホルムスク ХОЛМСК（旧真岡）

間宮海峡に面し大陸ワニノと結ぶ鉄道連絡船港の町で人口28,979人（2014年）10年前は5万人でしたが、毎年減少しています。産業は水産、造船、金属加工業で1870年にロシア軍の駐屯地として建設、日本時代（1905年～45年）は真岡（ロシア領時代のマウカ Маука、1908年までは日本語でもまうか）まおかと改称しました。1945年8月20日ソ連軍が上陸し、日本軍と市内そして熊笹峠などで激しい戦闘が始まり、真岡郵便局事件や朝鮮人虐殺人事件などが起こりました。1975年釧路市と姉妹都市。ユヅノサリツクから83km専用車で約2時間。途中小さな村を通ります。旧みずほ村には80人中27人の韓国人がソ連軍が攻めてるので自決せよと日本人村長の命で死亡した韓国人悲劇の記念碑を見たり、着く手前の旧熊笹峠で町や間宮海峡を見渡せ、旧日本軍のトーチカやソ連軍勝利碑を見学します。



- ・ソビエツカヤ通りがメインストリートで客船ターミナル、バスターミナル（長距離用）と市場の周りが一番賑わっています。
- 海の眺望が良いのは平和広場、プリモリスキー公園、レーニン広場です。
- ・日本時代の遺構は真岡神社跡の石段と手水鉢等、旧王子製紙工場跡、南駅跡ぐらいで旧日本人街の中心跡に鎮魂慰霊碑そして文化会館の2階にあるホルムスク市立博物館（旧真岡病院跡）には日本時代の生活用品や地図や写真、海の生物、樺太アイヌの資料があります。ソビエツカヤ通りは旧本町通りで、今の市役所は旧真岡中学校跡に立ちます。
- ・ホテルはチャイカ（市役所まで歩いて10分の丘の上に建つビジネスホテル）とホルムスク（ソビエツカヤ通りに面した古いホテル、客船ターミナルや市場の近く）
- ・昭和16年真岡町は人口19,193人島一の缶詰工場、王子製紙工場、海産物と商業の公会堂、商工会議所もあり、西海岸の中心地で鉄道豊真線があり、港は不凍港でした。
- ・真岡に侵攻したソ連軍との戦闘のさなか、映画にもなった旧真岡郵便電報局員の9人の乙女は最後まで任務を全うし1945年8月20日青酸カリによる集団自決を遂げるのである。最後の電話は「皆さんこれが最後です。さよなら、さよなら」でした。

## ネベリスク НЕВЕЛЬСК (旧本斗 ほんど) Невельск

地名は1849年アムール川からラサハリンを調査したバイカル号の艦長の名前・ネヴェリスコ大佐からで、ホルムスクから南へ約48 km。

業業を中心に船舶修理と2ヶ所の炭鉱の町、不凍港の町。日本時代は稚内と結ぶ稚斗連絡線の発着地のため、今、稚内と姉妹都市。

町は海岸沿いに細長く背後はすぐ山の斜面がきている。メインストリートはソビエツカヤ通りで、中心地は駅前通り、今はバスターミナルで、中央市場や売店がある。日本時代の建物はロシア教会の裏に佇神社跡の石段や礎石と町はずれにあるに日本人墓地くらい。

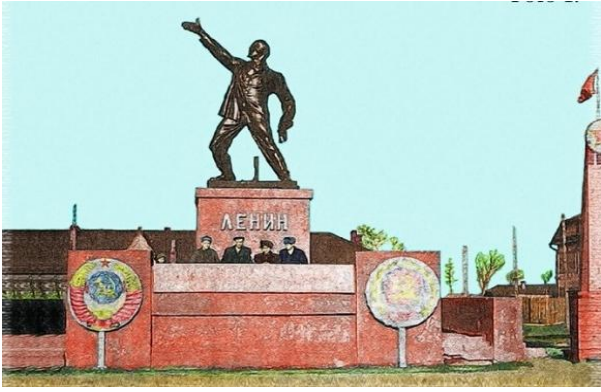
旧本斗公園望遠所からは街並がい一望できる。



## アレキサンドロフク・サハリンスキー

ユジノサハリンスクから560 km、ティモフスク駅から65km (バスで1時間)、帝政ロシア時代は行政府があり、政治犯の流刑地で林業や石炭産業の中心地でした。日本領事館もあった。1890年文豪アントン・チェーホフが3ヶ月滞在し「サハリン島」を出版。今は「歴史文学博物館・チェーホフとサハリン博物館。海には三人兄弟の岩が見所。他、囚人達の慰霊碑、間宮林蔵の銅像 (2000年) もできた。





## ゴルノザボーツク（旧内幌・ナイホロ）Горнозаводск

ベリクからさらに南に16km。鉄道の終点、石炭の町。丘の上からモネロン島が見える。モネロン島にはトドやアザラシ、海鳥の繁殖地としての観光地。



## チェーホフ 旧野田 Чехов

ホルムスクから47km。業業の街、梅香山がシンボル。梅香線もあつた。チェーホフはこの町にきていません。大正8年王子製紙工場。チェーホフの像。



## トマリ 旧泊居 とまりおる Томари

チーフホフから44km。アイヌ語で入り江の意味。旧王子製紙工場、泊居神社の鳥居、泊居大橋も残っている。天塩市と姉妹都市。泊居ビールが有名。家具の製造工場もある。



## イリンスキー旧久春内 くしゅんない Ильинский

トマリから32km。幕末の探検家最上徳内がサハリン探検でここまで来ました。漁業の町でした。牧場が多く、今は酪農の町。小学校跡と港跡がある。



## クラスノゴルスク 旧珍内 ちんない Красногорск

イリンスキーから50km北。日本時代は炭鉱や木材の集約地だった。今は火力発電所の廃墟（煙突が目印）、鉄道工事跡も残っている。今は港町。ウジノサリンスクからブズモーリエ経由で200km、車で3時間。鉄橋の橋台や橋脚も残っている。



## ウグレゴルスク 旧恵須取 えすとる Углегорск

製紙工場、神社鳥居も残っている。ウジリハリンスクから356km。車で5時間。ロシア語の石炭からウグレゴルスクになる。王子製紙跡、三菱南樺太炭鉱跡。海には橋脚、日本人墓地、神社鳥居、小学校跡（奉安殿）跡が残っている。歴史博物館がある。



## コルサコフ（旧大泊） КОРСАКОВ

由来は東シベリア総督コルサーコフ・M将軍（1826+1871）からで、コルサコフは島で3番目の大きな町で、今、石油、天然ガスの積み出し港と漁業（サケ、マス、カレイ、ニシンなど缶詰工場）が産業です。ウジリハリンスクから42 km。稚内と結ぶ定期航路が1995年から復活し、1999年からは日本の東日本フェリーが就航しています。不凍港ですクラスノフフローツカヤ通りには市役所、映画館、博物館、旧垂庭神社石段などがある。日本時代の跡は、垂庭神社、旧拓銀大泊支店、気象観測台、旧大泊港、赤レンガの倉庫、郵便局、王子製紙工場があります。



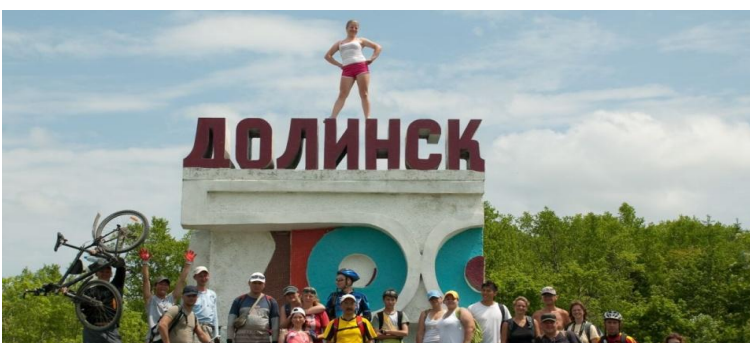
## アニワ 旧留多加 るうたか Анива

ウヅマハリンスクから南へ73km、リュートガ川岸に面し、主産業は農業、水産物。また風光明媚なため海水浴シーズンは多くのビーチが賑わう。リュートガ川ではワカサギ、ウグイ、イワナ、サクラマスが釣れます。



## ドーリンスク 旧落合 ДОЛИНСК

ウヅマハリンスクから43km。名前の由来は幅広い川沿いの低地ドツナからで駅を中心に静かな農業町。日本時代の遺構は、富士製紙工場跡、中島呉服店の土蔵、第一小学校跡の奉安殿、神社跡、かつては樺太アイヌ民族の村もありました。名寄市と姉妹都市。少し南にポフロフカ村があり、黒川湿原が広がります。ミズゴケ、ヒメヤクガ、ワサゲ、ミズドリ、ヤギラン、ハマエンドウ、ハマス他花々がある。そして、大正12年8月4日、宮澤賢治の銀河鉄道の夜の舞台、ドーリンスクから北へ10km先、当時日本において最北端のスタロドゥブスコエ（旧栄浜）へ。8km先のオホーツク海へ。白鳥湖（白鳥停車場）、海岸で琥珀取り（宝石）そして、ドーリンスク周辺には20余の町や村が点在しています。ブイコフ内淵町には炭鉱があり、ソコル大谷には旧日本軍飛行場で今でもロシア軍の基地があります。ドーリンスクから北へ65kmがブスモーリエ 白浦町は漁業（サケ、マス、タラバガニ、他、昆布、ワカメ、岩のり）で旧白浦神社の鳥居跡、旧白浦国民小学校奉安殿も残る。





## ポロナISK 旧敷香 Поронайск

アイヌ語で大きな川、ポロナイ川河口の町。ユヅノカリスクから288km北。セメント工場、木材積出しコンビナート、漁業とミンク毛皮工場の町。日本時代は最北の町で王子製紙工場跡、駅跡、防空壕、日本人墓地、先住民碑もあります。



## スマイルヌイフ 旧 気屯 Смирных

ユヅノカリスクから約363km。ポロナISKから約73km。北緯50度線旧日ソ国境近くの町で湿地帯で主な産業は林業。

第二次世界大戦末期日本軍と激戦があり、いたるところに追悼碑が立っている。スマイルヌイフとは国境警備隊長だった彼の名前から由来している。スマイルヌイフから北へ12kmはホッペジノ村旧古屯ことんで、駅近くに日ソ平和友好の碑がある。

郊外には1996年（平成8年）日本政府が建立した樺太千島戦没者慰霊碑もある。そして日本軍のトーチカも残る。

ホッペジノ図書館には旧日本兵の遺品や資料も残っている。ホッペジノから北15km先にハンダサ半田沢はんださわ村があり、50度線に最も近い駅で近くに弾丸の爪痕が残る。





## マカロフ 旧知取 Макаров

ユジノサハリンスクから213km、林ツク海岸マカロフ炭鉱（旧知取炭鉱）、大正13年築の（富士製紙工場が残っています）。



## ノグリキ НОГЛИКИ

ユジノサハリンスクより北へ約613km 列車の終着駅。ポロナイスクから350km。北緯52度近くで林ツク海のトゥイミ川河口の人口約11,000人（2010年）の町。ニブヒ語で石油があふれ出ている川の名からの由来の石油 ガス採掘から漁業、ニブヒ人7000人が住んでいて、北方民族博物館のある町です。北へ26km先のガチャーチ・クリューチク村には温泉があり、バスで行けます。日本と違って林と湿地の間に温泉小屋が点在しています。（鉱泉で有料施設から無料小屋まで）





## オハ OXA

ユジナハリンスクから740km。ノグリキから250km先の油田都市。現地発音でアハーでエヴェンキ語で「悪い場所」との意味。

ロシア正教会、市役所、マグニチュード7,6の記念碑、石油基地、石油調査研究所、工業専門学校がある。島4番目の人口36,000人で囲りは針葉樹林帯とツンドラ。ツンドラの周辺の草地にはウィルタの人々がトナカイを放牧しています。

2014年	7/10	7/20	7/20	8/10
最高温度	15°C	20°C	21°C	24°C
最低温度	8°C	13°C	13°C	12°C

詳しくはオハの天気をご参照下さい。





## よくある質問

Q. 言葉ができないのですが、旅行できますか。

A. 英語の表示もたくさん出ており、他の国へ旅行へ行くのとかわりません。またバウチャーシステムの為、ホテル代など支払済みで出発しますので、非常に楽です。

Q. 劇場のチケットはどうやって入手したらよいのでしょうか。

A. 当社で承っておりますのでお問い合わせください。

Q. ビザはどうやって取得したら良いのでしょうか。

A. 当社でビザ代行手配を承っておりますのでお問い合わせください。

## ロシア料理について



誰も旅行はその土地の食事から始めます。ロシア旅行もロシア料理からで、ロシア料理は食べてほっとする、気取りのないおいしさがあります。まず、前菜ザクスカは多量なのがロシアスタイルで、次に、主なスープ・ボルシチは日本の雑煮のように、その土地の肉、野菜なんでも入れます。ロシア料理は身近な食材の組み合わせ農民料理でロシア人の最大の誇りと自信の源は広大な国土を有していることです。そこで独自の文化圏が形成され、2000年の歴史から食文化も形成されました。メイン・ディッシュの一つのつぼ焼きはパンの生地をかぶせた壺をオーブンで焼くので食卓に出しても冷めにくく、肉はチキンとキノコのクリーム煮で全体がクリーミーな味に仕上がっています。寒冷地ロシアでは料理が冷めないよう順に出すコース方式がフランスなどで取り入れられ、今ではフルコースとして世界の基準になっています。

## ロシアスープの王・ボルシチ



赤ビーツ（テンサイ）を肉、キャベツ、きのこなどとともに煮出し野菜を添えたスープ。スメタナ（サワークリーム）をかけて食べます。夏には冷製で供されることもあります。

## ロシアのパンケーキ・ブリヌイ



キリスト教が入る988年前からスラブ人の食べ物ブリヌイはペチカで焼かれ、ブリヌイの丸い形は太陽の象徴とされ冬が終わり太陽が再生される祝い日マースレニツァ祭（謝肉祭と同じ日）に特別なメニューとされていました。今、前菜やデザートとしてのブリヌイ専門店が多くあります。ロシア風パンケーキ、クレープです。焼き上げたブリヌイに、バターやスメタナを塗って食べるか、イクラやキャビア、チーズ、ベーコン、魚の燻製などを包んで食べます。ブリヌイはこんがり色で小さな穴がたくさんあった方がおいしいとされています。ジャムと紅茶も忘れずに。

## ロシア料理の雄・ビーフ・ストロガノフ



エルミターージュ美術館（旧冬の宮殿）近くネフスキー大通りに面したストロガノフ宮殿内で18世紀半ば年老いた公爵アレクサンドル・セルゲーエヴィチ・ストロガノフは歯が抜け、好物のビーフステーキが食べられなくなったので、彼のために小さく切りタマネギとキノコと牛肉を柔らかく煮込む料理が考案されソ連時代20世紀初頭にロシア料理の一つとして、世界に普及しました。ソースにクリーム添えの牛肉で、マッシュルームや米やマッシュポテトと一緒に食べられます。

## 舌がとろけそうなロシア風餃子・ペレメニ



小麦粉と卵を練ってひき肉や野菜を包み茹でます。ペレメニは言葉は違いますがウズベキスタン（チュチュヴァラ）、コーカサス地方（ヒンカリ）、ウクライナ（ワレニキ）、ポーランド（ピエロギ）、バルト三国などでも民族料理として広く紹介されています。食べ方は、バターやスメタナを付ける、シベリアではからしやお酢、水餃子風にしても好まれています。

## ロシアのパンはやっぱりピロシキ！



ロシア家庭料理の一つでひき肉、米、椎茸、キャベツ、タマネギ、キノコなど自由に具を入れ、小麦粉でこねた皮で包み、焼いたもので惣菜パンとして軽食のお茶の時間に食べられています。スタンドで売られレストランでは普通はできません。肉まんとは違います。ポーランド、バルト三国、イラン等世界で広く有名になっています。ジャムや果物の入った甘いピロシキもあり、事前に聞いてから買うことをおすすめします。

## お買い物・お土産情報

### ロシアの代表のお土産・マトリョーシカ人形

マトリョーシカのルーツは日本の組み子人形「七福神」と言われています（現在ザゴルスク博物館に展示）。19世紀にマモントフという貴族がモスクワ郊外の玩具工房に持ち込み夫人がこれが気に入りこれをベースに新しい人形を作りだしました。彼女はロシア農民の絵で有名なマリューチンに絵を書かせ政策させました。その第一号が1980年に制作されたもので、モデルの少女の名がマトリョーナだったのでその愛称「マトリョーシカ」と呼ばれるようになりました。現在ロシアの代表的民芸品として世界に知られています。また絵柄もチェブラーシカや歴代大統領など色々なバリエーションがあり楽しむことができます。お土産にはぴったりの品です。



## お客様の声

H. N

宮澤賢治が好きでサハリンへ行きました。

43km北上のドリシク（旧落合）まで行き、製紙工場、駅、小学校や日本時代の跡を見て、さらに10km先のオホーツク海にあるストロドゥブスコエ（栄浜）へ行きました。ここでは駅跡、白鳥湖を見ました。賢治の詩集と「銀河鉄道の夜」を片手に彼の足跡と旧日本時代をしのぶ旅でした。忘れられない思い出の旅になりました。

K. S.

私は北海道に住んでいたのですが、北海道から一番近い外国であるサハリンへ稚内から船で行きました。こんなに近くでヨーロッパの文化に触れることができるとは思いませんでした。建物も高層の鉄筋コンクリートのマンションで北海道の戸建ての街並みと異なり、非常に文化的な生活をされていることに驚きました。サハリンは自然が素晴らしくハイキングを楽しみバーベキュー（シャシリク）を食べました。とてもおいしかったです。友達もできたので毎年遊びにいらこうと思います。

観光庁長官登録旅行業第98号  

**ロシア旅行社**  
 〒102-0076 東京都千代田区五番町5-1 第8田中ビル5F  
**TEL:03-3238-9101 FAX:03-3238-9110**

